

料金後納

ゆうメール

(株)育脳寺子屋MAC 本部教室 MAC真成塾  
〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20  
電話:(075)871-0374 FAX:(075)882-3777

2023 年  
4 月号

Mathematics Abacus Chinese character

# MAC NEWS

お子さんが大人になった時、社会で活躍できるヒントがいっぱい！！

## 我が子を「勉強好き」にさせるのは誰…？

～実は「トライアルの感想文」がとっても重要なんです～



MACはこの春、多くの仲間たちが入塾してくれました。特に新小学1年生は3月から来てくれている子も多く、最初は大きなお姉さん・お兄さんと一緒に学ぶ環境に戸惑っていましたが、やっと塾にも慣れ「自学自習」のスタートラインに立てているのではないのでしょうか？4月スタートのみんなは今から一緒に頑張りましょう (^\_^)/

新しい仲間が増えたこの時期、良い機会ですので**MACで使用している教材**のこと、**なぜ毎回感想文を書いて頂いているか**など、ここでまとめてみようと思います。

昨年の4月号も同じような内容を書きましたが、この春に入塾された方はMACについて理解を深めて頂き、入塾して何年も経つ方は再確認の機会にして頂ければと思い、再度書かせて頂きます。

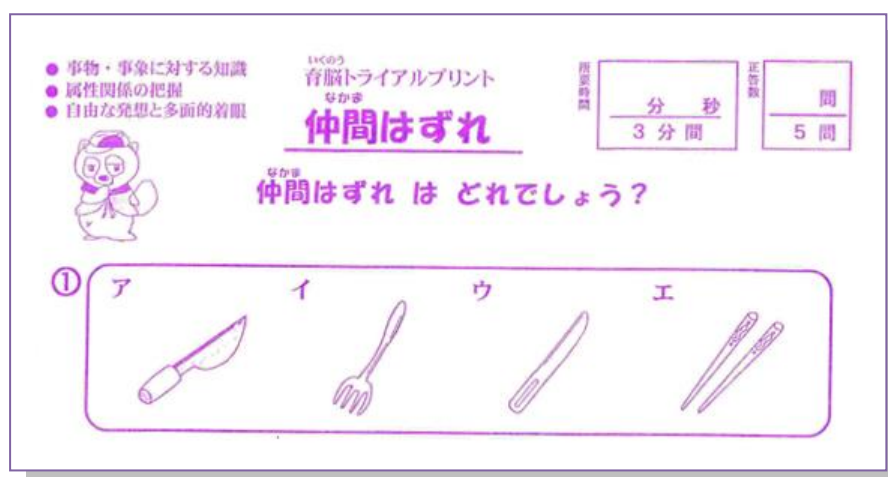
一つ言えることは、お子さんを「もう～、早く宿題しなさい!!!」と言う必要のない、勉強好きな子に育てるには塾だけではなく**ご家庭の協力が必須**だということです。実は毎月お願いしている「育脳トライアルの感想文を書く時のお母さんの対応」がお子さんを勉強好きにさせるか否かを大きく左右させるのです・・・。

(こう言われるとプレッシャーですよね・・・笑)

## 「育脳トライアル」という教材はどんなもの？

ほぼ月に1冊のペースで取り組んでもらっている育脳トライアルですが、子どもたちに一番人気の教材です。人気の秘密は何なのか・・・？それは、『**答えが一つではない問題が多い**』からです。

いきなりですが問題です。あなたならこの問いに対してどんな答えを出しますか？



解答例で言うと、

- ア・・・食べる時に使わない。      イ・・・これだけ先が分かれている  
エ・・・これだけ二本                      エ・・・これだけ刺したり切ったりではなくつまむもの  
エ・・・これだけ木で、他は鉄の部分がある                      etc..その他も多数ありますよ！！

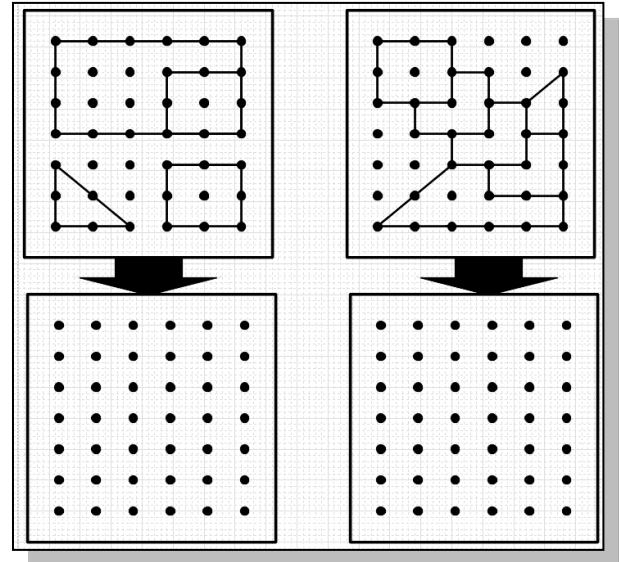
つまり、考え方（定義の仕方）によって様々な解答になる問題なのです。学校のテストでは答えはひとつなので○か×で採点され、「なぜその答えにしたの??」ということ聞かれることはほぼありません。MACでは低学年の間からこのような問題に取り組むことによって、楽しみながら**思考力**を鍛えているのです。自分なりの考えで答えを出して○をもらえるので、子どもたちは楽しいと感じるのです。

これからの時代は「**知識**」だけではなく「**知恵**」のある子でなければ生きていけません。ちなみに裏千家前家元の千玄室氏は、「**知恵**」とは生まれた時から養育されていく生活の中で身につけられるものだと仰っています。ぜひそれを意識しながら、親子の時間を大切になさって下さいね。

## 「点描写」は何のために描いているの・・・？

育脳トライアルには2ページごとに「点描写」のページがあります。恐らく『これは何のために取り組んでいるのだろう・・・？』と感じている方が多いと思います。点描写は空間認知能という領域のトレーニングになります。

空間認知能とはその名の通り、空間を認知する領域なので、教科で言えば算数・数学の図形問題や空間問題に強くなりますし、日常生活でも「時間の感覚」や「段取りを立てて、その通りに物事を進めていくこと」もこの空間認知能が関係しているのです。



**「悪気が無いけど時間にルーズ・・・」「学歴はあるのに仕事が出来ない・・・」**

身近にそのような人がいたとしたら、その人は空間認知能が低い可能性があります。

## 国立大学合格者が、「やって良かった、トライアル！」

「僕が国立大学に合格出来たのは育脳トライアルのお陰だと思っています。育脳トライアルに取り組んだことで『**ものの見方は一つではない**』ということを学びました。その考え方が、勉強の仕方に良い影響を与えてくれました。」

国立大学に現役合格したある生徒が、このような嬉しいことを言ってくれました。

MACでは成績も良くなるよう指導するのは当然ですが、それ以上に社会に出てから困らないよう、「**考える力**」「**自ら行動する力**」を育みたいと考えています。そのような理由から、勉強が難しくなる前の幼児～小学校低学年の間の入塾をおすすめしているのです。

## なぜ親が「感想文」を書かないといけないの!?

MACでは育脳トライアルが終わる度に生徒本人、保護者さん共に感想文を書いて頂いています。その提出がないと次の一冊をもらえないというルールにし、「忘れ物をしないようにしよう」という意識も持ってもらうようにしています。

正直「なぜ保護者が感想文を書かないといけないの??」と思われている方も多いのではと思います。特にお子さんが複数人 MAC に通っている保護者さんからすると大変な労力だということはよく理解しています。

なぜ保護者が感想文を書く必要があるのか、その理由は大きく2点あります。

### ①「お子さんの学習意欲向上の為」

育脳トライアルは月間教材となっているので、ほぼひと月に1冊のペースで進みます。お子さん本人からすれば、ひと月かけて一冊のテキストをやり終える事は非常に大きな達成感・満足感を得ることができます。さらに保護者がそのテキストを見てくれて、感想まで書いてくれれば「よし、次も頑張ろう!もっとたくさん〇をもらえるようにしよう」と、学習意欲が増すのです。保護者が感想文を書いてくれる=ちゃんと自分の事を見てもらっているという安心感から、良い学習習慣を身に付けられるようになります。

### ②「わが子の成長を把握して頂く為」

「うわ~、うちの子この問題に対してこんな答え書くんだと、子どもの内面を垣間見た気がしました。」という感想文を頂いた事がありました。

子どもたちは日々成長しています。毎月、毎月子どもたちの解き終えた育脳トライアルを見ていると、日々の成長がはっきり見えてきます。書く文字、思考力、発想力などなど。このちょっとずつの成長をしっかりと感じ、見守ってあげて欲しいのです。

大人はどうしても目に見えて分かる結果（テストや成績など数字で表せるもの）を求めがちです。しかし、子どもたちの「ぐっと伸びる時期」は本当に様々です。小学校中

学年くらいで一気にお兄さんお姉さんになったなという子もいれば、高学年で急に勉強ができるようになったな・・という子も、中学に入ってある時期から一気に成績が上がった・・など10人いたら10通りなのです。

すぐに結果が出ていないからといって、今取り組んでいることを否定しないようにして下さい。保護者がそうすると子どもは根気強くひとつの事に取り組めなくなります。

### 『すぐに役立つことは、すぐに役立たなくなる』

これは伝説の教師と言われた灘高の橋本武先生の言葉です。今はインターネットによって、たいていの知識は検索ですぐに得られる時代になっています。こういう時代に大事なことは、効率的にたくさんの知識を詰め込むことではなく、少しでも興味、関心があったら横道にそれて、自分で調べ、自分で考え、理解し、その知識を自分の行動に役立てていくことだと思います。

そうして得た知識、知恵、経験といったばらばらの点だったものが次第に繋がって、線になり、面になり、確実な自分の力になっていきます。つまり、将来的に本当に役に立つ力はすぐには身に付かないし、なかなか目にも見えにくいものなのです。

今の子どもたちはまさにその作業の真っ最中ですが、すぐに結果を求めるのではなく、長い目で見守ってあげて下さいね。

## 感想文を書く際のお願い

さて、冒頭の「育脳トライアルの感想文を書く時のお母さんの対応」の件ですが・・。我が子に感想文を頼まれた時、どのようなリアクションをされていますか？

「よし、じゃあ一緒に見返そうか？ どうしてそんな答えになったか教えて！」

というようなやり取りでしょうか？ はたまた、

「え、また～？ 面倒臭いなあ。後で書いておくからそこに置いておいて」でしょうか・・。

提出頂いている感想文は必ず全てに目を通しています。気になることが書かれている場合は、お手紙で返事を書くこともあります。(正直感想文を読ませて頂いていると、感想文を書く際にどのようなやり取りをされているか、だいたい見えてきます・・・笑)

感想文を親に頼む時の、お子さんの気持ちになってみてください。

もし後者のような対応の場合、自分がひと月頑張ってきたことに興味を持ってもらっていないと感じ、別に次の一冊もじっくり見てもらえないだろうから、適当にしておこう・・・。とならないでしょうか？前者の場合と後者の場合、どちらの方が子どもを勉強好きにさせる対応であるかは明らかですよ。

1週間を分に直すと **10,080分**になります。その中MACに来てもらっている時間は小学生ならせいぜい **80~160分程度**です。**残念ながらMACにいる時間だけで、子どもを勉強好きに変えてあげられる魔法はありません。**

子どもはお母さんが大好きです。子どもを勉強好きにさせるかどうかは多くの時間を一緒に過ごすご家庭（特にお母さん）の対応にかかっているのです。ご家庭で勉強を教える必要はございませんが、感想文を書く際のやり取りは大切にしていきたいと思えます。

一緒に育脳トライアルを見返す際は、答えの間違いを指摘するのではなく、お子さんの説明に感動し、驚いてあげてください。そして、その際に大切な事は、お子さんの眼を見て説明を受けて頂くことです。

保護者さんは本当にお忙しい日々だと思います。(私にも小学生の子が二人いるので、毎日子どもと向き合ってくれている妻には本当に感謝しかありません)しかしお子さんを勉強好きにするための、月に5~10分程度の時間です。ぜひこの感想文を書く時間が「**苦痛**」ではなく、こどもと共通の話題で話ができる「**至福**」の時間にして頂きたいのです。

感想文を書く時間がお母さんにとって「**至福**」の時間になった時が、子どもが勉強好きになる時です。お母さんの力で我が子を勉強好きにしてあげられるよう、今後ご理解とご協力のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

# てんびょうしゃ いみ 点描写にはどんな意味があるの？

みんなが育脳トライアルで取り組んでいる「点描写」にはどんな意味がある  
おも じつ げ-む  
と思いますか？実はただのゲームではないのですよ～。

## てんびょうしゃ い ちから はぐく 点描写は「生きる力」を育てているのです！

いくのうとらいある ページ と く てんびょうしゃ 空間にんちのう  
育脳トライアルで2ページごとに取り組んでいる点描写は「空間認知能」  
のうりよく きた  
という能力を鍛えています。

くうかんにんちのう さんすう すうがく ずけい もんだい つよ い  
空間認知能は算数や数学の図形の問題に強くなることは言うまでもあり  
ませんが、日頃の生活でも「時間的な感覚」や「段取りを立てて、その通  
ひごろ せいかつ じかんでき かんかく だんど た とお  
りに物事を進めていく力」というのは、この空間認知能が大きく関係して  
ものごと すす ちから 空間にんちのう おお かんけい  
いるのです。

のう せんもんか はやしせんせい 空間にんちのう きた ようりょう わる ひと  
脳の専門家である林先生は「空間認知能を鍛えないと『要領が悪い人』  
しごと ひと おっしゃ  
『仕事ができない人』になりかねない」と仰っています。

みな てんびょうしゃ と く しょうらいおとな とき こま  
つまり皆さんは点描写に取り組むことで、将来大人になった時に困らな  
いように「生きる力を」育てているのです。  
い ちから はぐく

い はや ていねい だいいち きも いま  
いつも言っているように「速さよりも丁寧さを第一に」の気持ちで、今  
いじょう しんけん と く くだ  
まで以上に真剣に取り組むようにして下さいね。



くうかんにんちのう きた ようりょう わる ひと  
「空間認知能を鍛えないと『要領が悪い人』  
しごと ひと  
『仕事ができない人』になりかねない」

はやしなりゆき にほんだいがくめいよきょうじゆ のうしんけいげかい  
林成之 ～日本大学名誉教授の脳神経外科医～

じぶん へや めだ は よ かせ  
自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。